

病院の概要

- 病床数 300床
- 医師数（研修医を除く） 34名（うち指導医数 11名）
- 研修医数 1年目 2名 2年目 0名
- 研修医の主な出身大学 産業医科大学・福島県立医科大学
（平成29年4月1日から基幹型臨床研修病院となりました。初年度は2名定員でしたので、研修医の出身大学は2大学となっています。）
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科
代謝・糖尿病内科 腎臓内科 神経内科 外科
心臓血管外科 呼吸器外科 整形外科 脳神経外科
乳腺外科 形成外科 皮膚科 泌尿器科 婦人科
眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科
麻酔科 救急科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 約400名 ● 1日平均入院患者数 約20名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、埼玉県立がんセンター医療連携施設、災害拠点病院



研修プログラムの特色

このプログラムは、救急医療、プライマリ・ケアにおける基本的診療の知識、技能を習得し、総合的臨床能力と医療人としての正しい態度を身につけることを目的とする。総合診療方式（スーパーローテイト方式）による2年間の初期臨床研修プログラムです。

内科・救急科・小児科・産婦人科・外科・麻酔科・精神科及び地域医療の各科ローテーションを必須とし、かつ救急部門も平行し、急性期救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診・初期診断・初期治療の実際から適切な診断能力を身につけるようにします。具体的には臨床研修到達目標（厚生労働省）を目的としています。



プログラム 例 新久喜総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員4人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急科			外科	精神科	麻酔科
2年目▶	地域医療	小児科	産婦人科	選択科目								

1年次は内科（6か月）、救急科（3か月）の必修科目と、病院で定めた必修科目の外科（1か月）、麻酔科（1か月）を新久喜総合病院にて行い、精神科（1か月）を済生会鴻巣病院にて行います。地域医療（1か月）は、新上三川病院、所沢明生病院、熊谷総合病院のいずれかで行います。小児科（1か月）については熊谷総合病院、産婦人科（1か月）は羽生総合病院、芳賀赤十字病院、深谷赤十字病院のいずれかで行います。選択科目（9か月）は新久喜総合病院、新上三川病院、所沢明生病院で行います。

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：年収700万円 2年次：年収750万
- 諸手当▶ 当直手当、時間外手当
- 保険▶ 組合健康保険、厚生年金保険、雇用保険
- 勤務時間▶ 8時～17時
- 当直▶ あり（6回／月）
- 休暇▶ 有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶ あり（病院敷地内）
- その他▶ 学会、研修会参加について病院補助あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・新上三川病院
- ・所沢明生病院
- ・熊谷総合病院
- ・羽生総合病院
- ・芳賀赤十字病院
- ・深谷赤十字病院
- ・済生会鴻巣病院

当院の魅力

研修医自ら経験できる環境

当院では研修医自ら前面で基本的な手技や診察を行い、それを上級医・指導医が後方から指導します。研修医が自ら経験できる環境です。多くの症例に接し、各専門診療科での研修では3年目以降の進路に沿った専門的な指導も行っています。

◎相談しやすい環境

ローテイト中ではない他の診療科の上級医・指導医に、研修医が直接コンサルトできる話しやすい環境です。

◎知識を身につける

毎朝の救急カンファレンスを実施。院内、院外での学術発表にも積極的に参加しています。研修医の学会参加についても病院補助を行うなど、積極的に支援も行っています。

◎住環境

病院の敷地内に寮を完備しています。(築1年)設備面でもサポートを行っています。

☆教育研修病院認定施設

日本内科学会認定教育関連病院、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本脳神経外科学会研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本救急医学会認定専門医指定施設、日本麻酔科学会認定研修施設、日本がん治療認定医機構研修施設、日本形成外科学会認定教育関連施設、日本高血圧学会高血圧認定研修施設、日本透析医学会専門医制度教育関連施設、日本腎臓学会研修施設、循環器専門医研修施設



研修責任者から

新久喜総合病院は、断らない医療を実践しています。研修医の皆さんには、まず、Generalistとして、救急の現場でご活躍いただきます。

当院の指導医は、Specialistとして、各々、専門領域で活躍していますが、救急当番の際には、Generalistとして活躍出来る素養を持っています。研修医の皆さんとともに治療にあたり、さまざまな臨床現場での判断を指導、サポートします。

埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数が大変少ない医療圏です。研修医の皆さんは、研修期間が終わるころには多くの様々な救急症例を経験し、救急現場である程度判断、治療できる力がつくようになります。

救急対応ができるようになると同時に、各専門分野でのSpecialistである各科診療も充実しています。2年間で自分の興味のある分野を模索していくためにいろいろな科を回ってみましょう。どの科もどンドン手技をやらせてもらえ、知識も吸収し、入院患者の治療も任せてもらえます。各科の仲が良く壁が無いので気軽にコンサルトもでき、ストレスのない研修ができます。後期研修では各科の専門医をとることも可能です。

研修医の皆さんは、新久喜総合病院のかけがえのないメンバーです。よく働いてよく遊びよく笑うやる気のある皆さんを待っています！



プログラム責任者
信太 薫

先輩研修医から

新久喜総合病院は平成29年4月から基幹型臨床研修病院となったので私達2人が第1期生です。症例が豊富な中、研修医が少ない環境なのでやれることが多いと感じてこの病院を選びました。(清水)



研修医1年目
清水 崇弘



研修医1年目
田山 義樹

この病院に入って感じたことは上級医や指導医の先生と話しやすいということです。コンサルトもしやすくして研修医として安心できます。救急も多く、手を動かすことが好きで、積極的な方に向いている病院だと思います。(田山)

女性医師支援コーナー

院内保育所を設置しております。女性専用の当直室あり。



連絡先 医療法人社団 埼玉巨樹の会 **新久喜総合病院**

総務課 臨床研修担当

〒346-8530 久喜市上早見418-1

TEL 0480-26-0033(代表) FAX 0480-44-8026

E-mail kukijinji@shinkuki-hp.jp

URL http://www.shinkuki-hp.jp/

アクセス 久喜駅からバスで約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学随時受付中】

・交通費支給(上限あり)

【インターンシップ受付中】

・実践型インターンシップ

・宿舎利用可能